

第9回西予市の財政に関する特別委員会会議録

1. 招 集 年 月 日 令和7年10月16日

1. 招 集 の 場 所 全員協議会室

1. 開 会 令和7年10月16日

午後1時28分

1. 散 会 令和7年10月16日

午後3時15分

1. 出 席 委 員

委員長 源 正樹

副委員長 中村 一雅

委員 大森 揚子

委員 信宮 徹也

委員 河野 清一

委員 小玉 忠重

委員 二宮 一朗

委員 森川 一義

1. 欠 席 委 員

なし

1. 出 席 説 明 員

なし

1. 出席議会事務局職員

書記 脇本 美登利

1. 会議に付した事件

議員報酬等について

その他

1. 会 議 の 経 過 別紙のとおり

開会 午後1時28分

**○中村副委員長**

これより第9回西予市の財政に関する特別委員会を開会いたします。

**○源委員長**

源委員長が挨拶を行う。

**○中村副委員長**

これよりの進行は委員長のほうで進めていただきます。よろしくお願ひします。

**○源委員長**

それでは次第に沿って進めてまいります。

3番協議(1)議員報酬等について、前回の第8回の特別委員会の資料のほう一度開けていただきたらと思います。本日の協議の進め方なんですけれども、見ていただいたとおり議員報酬についてはかなり意見が分かれておる状態で、行政視察、政務活動費については大きく二分で、議会だよりについては約3分の2の方が広報紙と統合という意見で書かれております。構わなければ、ちょっと議員報酬のほうを1番最後というか、今日の委員会、特別委員会の最後に持ってきたうえで、まず議会だよりについてから順番に、行政視察と政務活動費のほうは関連があるかなと思いますので、まずは議会だよりについての協議から進めていきたいんですが、皆さんよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

**○源委員長**

それでは議会だよりについて、その他のところも勘案しながら、当アンケートによれば広報紙と統合が13名、現状維持が2名、その他が3名、その他については下記となります。「統合しても良いが、掲載内容は議会で決定する。」「広報紙と統合が良いが、議会としての独立性は堅持すべき。」「統合は避けたい考え。白黒、新聞形式など予算を抑えて独自で発行したい。広報と統合するなら独自にPDF版をより充実させて発行したい。」基本的には現状維持という方がかなり少数でありますので、この部分については、もう「広報せいよ」と統合という方向性で構わないかなと思います。

ただ1点、その他のところにあります掲載内容等をどうするか、議会としての独立性をどうするか、このあたりについて、最終的にはここで協議

を行っていくのか、例えば議会だより編集委員会がありますのでその中で行うのか、ちょっとその辺りについては、私も判断の迷いどころでありますので、今後実際問題、12月議会だよりが契約の最終になりますので、次回の第1回定例会からは広報紙と統合という流れになるかと思ひます。それまでに、いずれかの委員会等で今後どうしていくかの協議が必要になると思ひますので、これについては、一度議長のほうに、どこで協議すべきかということ、判断を仰ぎたいと思ひます。議会だよりについては、私これ個人の意見先に述べて申し訳なかつたんですけど、そのように考えるんですが、委員の皆様、意見がありましたらよろしくお願ひします。

**○二宮委員**

このアンケートの時点で広報紙と統合が13人おられるということがちょっとびっくりしたんですけど、イメージがまだ沸かないので、この広報紙と統合してどんな感じになるのかというのが、ようこれでみんな賛成したなと思ひしております。私は現状維持の2の中の1人なんですけれども、そういうところは、もう無視してやるということで、委員長のお考えでしょうか。

**○源委員長**

無視というわけではなくて、今私が申し上げたのは一つの意見でございます。このあいだ全員協議会で申し上げたんですが、12月定例会において債務負担行為をしなければならぬということ、早いうちに結論が必要かなというふうに思っております。ただ、現状維持が2名ということ、もう1点、毎年議会だよりのほう、議長の選挙に応じて各議員の皆さんに、いわゆる希望調査をとっておられるんですけども、希望するという方はほぼいない。これがずーっと続いているというふうに聞いておりますので、その意味でもどうなのかなということはあると思います。その辺りについて、また御意見を賜ればと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

**○二宮委員**

例えば、このレイアウトとか、こういう形になるぐらいのことも出てくるんですかね。

**○源委員長**

暫時休憩を告げる。(休憩 午後1時34分)

**○源委員長**

再開を告げる。(再開 午後1時47分)

今、二宮委員のほうから広報と統合するに当たって具体的にどんな方向性になるかという意見がありました。これについては、議長、そして私が特別委員会委員長兼議会だよりの委員長もしておりますので、ちょっと早急に、行政の担当部局とどういった内容になるのか、その辺りについては協議して、また改めて皆さんに周知をしたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

[異議なしの声あり]

#### ○大森委員

先ほどの現状維持が2名で、そのうちのお1人の議員の発言の中から、今後のイメージが持てないのでということでお話が今進んでいるんですけども、私の意見としまして、議会と行政はやっぱりしっかりと区別をするべきだということで、議会だよりについては、議会が発行するというところで私は反対をさせていただきました。そういうことなので、私はどういうふうと一緒にしてどういうふうに進めていくのかということについては、ちょっと疑問を持っております。しっかりとそこは区別をして、議会と行政と区別をして、しっかりと議会だよりのことを出していくべきだと思っております。議員の成り手が無いということですけども、それはまた別の話となりますし、私2年続けてやらしていただきまして、ようやく議会だよりのおもしろさというのは、ようやく分かりかけてきたところですので、そこはやりたいとすごく意欲を持って、委員長もやりたいとか言われてる方も中にもおりますし。そこはそういうことでそういう意見です。しっかりと区別をするべきだということで議会だよりは現状維持で出すべきだという意見です。

#### ○源委員長

ありがとうございます。

ほかにありましたらお願いします。

#### ○小玉委員

一緒にするけん、議会があれいことはなくて、いろんなどこ一緒にするところもあるし、議員がつくってないところもあるんで。事務局が作ってるとこもいっぱいあるんで。そういう現状を見て言わんと、やっぱいけんと思うんやけどな。

#### ○大森委員

それはその議会で決められたことですので、い

ろんなやり方があると思います。議会で決められたことを尊重します。

#### ○小玉委員

そしたら、議会で決めたらそれに従うということよな。少数意見やけんな。少なくとも。

#### ○大森委員

そうですね、ここで協議をして、ある程度みんなの意見でまとまるということですよな。

#### ○源委員長

ありがとうございます。

ほかにありましたらお願いします。

#### ○河野委員

この問題、要は財政の危機脱却の中での提案ということですので、それはできることはして、前向きに考えていかんと、現状がいいと言われても、悪いけど18名中2名しかおられんという現状です。統合前向きに考えるほうがいいんじゃないかと思う。

#### ○大森委員

財政的なことを考えると非常に西予市も逼迫をしてくるということでは十分分かっております。しかし議会だよりをなくすということよりも、私は議会と行政はしっかりと区別しておくべきだということのほうに重きを置きますし、ほかのところでも幾らでも財政的な無駄なところというのがあんじゃないかと思ひます。そういうところで反対をいたしてあります。

#### ○小玉委員

ほかに無駄のところがあるとよいういいなるけど、何が無駄かいうのを具体的に言ってもらわんと、一般論で言うても全然みんなぴんとこん。何が問題で何が削減できるのかっていうことをきちんと証明してもらわんと、一般論で言うてもしょうがない。

#### ○源委員長

暫時休憩を告げる。(休憩 午後1時52分)

#### ○源委員長

再開を告げる。(再開 午後1時58分)

そしたら、資料の四国中央市の広報を、議会だよりと統合したものを見ていただいたらと思ひます。今後どのようにしていくか、まずはですね広報と統合した場合どのような形となるのか、その辺りについて、まず議長と私のほうで担当部局と協議をしたいと思ひます。その結果に基づいて、

恐らく必要になると思うんで、この特別委員会において、広報と統合した場合に、どのようになるか、そういったイメージがまずできるような形で、説明と協議の場を設けたいと思いますので、以上でよろしいでしょうか。統合ありきではございませんので。

#### ○大森委員

それでは、統合するかしないかの議決はいつ頃になりますか。

#### ○源委員長

統合するかしないかの議決というのは、最終的には、ここで方向性出しますが、あくまで議員全員協議会等でやるのかどうか、議案ではありませんので、そのほかの件も含めまして、議案として出てくるのは唯一議員報酬、これについては、議案として出てまいります、例えば委員会視察、政務活動費、議会だよりについてはあくまで予算の一部ですので、その他については御理解いただきたいと思います。

#### ○源委員長

暫時休憩を告げる。(休憩 午後2時0分)

#### ○源委員長

再開を告げる。(再開 午後2時0分)

#### ○大森委員

すいません、ちょっと委員長の説明が私も分からなかったんですけども、全員協議会の場で、最終的には統合をする、しないということの皆さんの御意見を聞いて、方向が決まるということではないんですか。

#### ○源委員長

先ほど申し上げたとおり、賛否をとる、そういったことはあくまでこの委員会としての方向性ですね、方向性を出すことは可能です。しかし、議会だよりにせよ、議員報酬にせよ、委員会視察にせよ、政務活動費にせよ、全議員に関わることでありますので、私この間の全員協議会で申し上げましたが、この特別委員会を経た後、いま一度議員全員協議会を開催していただき、全議員の意見を聞く場を設ける、どのようにして決定していくかということは先ほど言ったとおり、議案となる部分と予算案となる部分がありますので、最終的にはそこになるかと思いますが、全員が賛成することはないと思いますが、なるべく多くの方が賛同していただくような、結論に持っていきたいと

考えております。

#### ○大森委員

私まだまだ議員2年目で不慣れなのでちょっと理解力が不十分で申し訳ないんですが、議会だよりを、最終的にはやめるということになると予算案に反映されるんですね。当初予算案に反映されると。

#### ○源委員長

当初予算ではないですが。まずは債務負担行為です。

#### ○源委員長

暫時休憩を告げる。(休憩 午後2時1分)

#### ○源委員長

再開を告げる。(再開 午後2時9分)

それではいま一度申し上げます。広報紙と統合した場合、どのような紙面になるのか、またページ数やレイアウト、作成等、様々な疑問点があるという意見がありましたので、これについて議長と私のほうで担当者とまず協議を行った上、次回特別委員会において、レイアウト案とかもその辺りについて、いま一度この場で報告した上で協議を行いたいと思いますので、これでよろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

#### ○源委員長

ありがとうございます。

それでは議会だよりについては、取りあえず以上にしたいと思います。

そしたら次、アンケート番号で3番行政視察及び4番政務活動費について、一つひとつするよりは、関連性があるかなというふうな意見も自由記述に見られましたので、これについては、一緒に協議をしたいと思います。アンケート結果見ていただいたら分かるかとおり、行政視察については実施しないが9名、現状どおりが4名、その他5名、政務活動費については支給しないが8名、現状維持7名、その他3名という結果になりました。これについて何か委員の皆さんから、意見等ありましたら発言を願います。

#### ○二宮委員

これももちろん財政逼迫の、ということでそういうふうな話でしょうけども、議会基本条例を鑑みて議会としてどうなのかというのが一つと、もう一つは、報酬この後って言われますけど、委員会

の予算旅費が約8万円ですよ。18人でやると年間約144万円。政務活動費12万円の216万円ですよ。例えば報酬を10%減にしたら700万円削減できるんですよ、報酬をそれでも足らんいうて20%減にしたら1400万円なるんですよ。私は、視察とか政務活動費とかいうのは、視察は2年に1回でもいいのは以前から言ってるんですけども、委員会を2年にすればね、それはもう議員としての役割の最低限やと思うんですよ。政務活動費は行こうが行くまいが好きですけど、それぞれの議員の判断ですから。でもそこはやっぱり残して、その分は議員報酬で半分にせえ言われれば僕は半分でも賛成しますよ。というのでちょっとここだけでは、決めにくいというのが私の意見。

#### ○源委員長

二宮委員からそれぞれ関連があるという指摘をいただきました。全くそのとおりだと思いますので、皆さん議員報酬の削減についても、考えに入れていただきながら、もしありましたら発言をお願いしたいと思います。

#### ○二宮委員

報酬のアンケートのもう大体皆何%があれなんかな。ここの設問が大体5%から1%になってるんで、こん中やったら5%かなと思って僕も5%にしたんやけども、10%以上の人というのはどのぐらい想定というのがあったのかちょっと分かりま

#### ○源委員長

アンケートのその他のところ見ていただいたら分かるんですけども、ここんところ10%もしくはそれ以上6名です。10%もしくはそれ以上、当然30%の方も入っております。

ほかにありましたらお願いします。

#### ○信宮委員

今まで一般質問等で様々な議員が、財政的にはどうなのかということを取り上げておりましたけれども、財政的に厳しいと言いつつも、そこまで切迫感がせまった答弁はなかったんじゃないかと思いますが、やはりチェック機能をきちんと果たしてこれなかった議会の責任もほんとに重く思いますので、私10%ということで回答させていただいたんですけども、10%以上という意味でありまして、今考えてみますと、やっぱり市長

40%、副市長30%、教育長20%ということもありますし、私たち市長と同じような特別職でありますので、最低教育長と同じ20%の削減がいいんじゃないかと思っております。

#### ○源委員長

ありがとうございます。

ほかにありましたらお願いします。

#### ○大森委員

行政視察と政務活動費については、議員の力量を高める重要なことだと思いますので、そこはしっかりと市民に丁寧に説明をして、今以上に議員がしっかりと学習し学び、それを市政にいかしていくということで、私は現状維持でいいと思います。それから議員の報酬に関してですが、どこに責任があるのかっていうところで、これは合併後の、私はいろいろ合併後の市政運営にあったのではないかということで、まだまだ勉強しております、分析中です。私、まだ1期目で、それも一緒に皆さん議員ひとからげに10%削減ということについてはちょっと大変不満に思います。まだ1期目ですし、そこで傾斜をつけていただく、削減をしないということについては、市民もなかなかちょっとうんとは言わないだろうと思いますし、ここに述べておりますように1期目については1%、それからチェック機能が行き届かなかったということで3期目以降の議員に関しては、議員間で相談をしていただきたいと思います。

#### ○源委員長

ほかありましたらお願いします。

#### ○森川委員

合併した当時は、行政視察やなんかみんな議会で報告しよったんよ。それが最近10年間はもうほとんど議会でも行政視察の報告なんかせずに、簡単に済ましよるけん、市民の人らは、行政視察と考えんけん、ただ旅行に行くだけやと思ってる人が多いわけよ。だけん行政視察したって言って、どういう結果が残ったか、どういう成果が残ったかいうことをやっぱ市民の人に発表するのが本当だと思う。

#### ○源委員長

ありがとうございます。

ほか、ありましたらお願いします。

#### ○源委員長

暫時休憩を告げる。(休憩 午後2時18分)

## ○源委員長

再開を告げる。(再開 午後3時14分)

休憩中の際に議員報酬等について、委員の皆様から貴重な意見をいただきましてありがとうございました。なるべく多く特別委員会を開催した上で、この特別委員会としての方向性ですね、それを早期に図れるように今後とも協議を進めてまいりたいと思いますのでよろしく願いいたします。

なお次回委員会については、10月23日木曜日午後1時より3時までの予定で開会したいと思いますので、予定をお願いいたします。通知について改めてお送りいたします。

次回委員会においては、議会だより、これが「広報せいよ」と統合した場合にどのような形になるか、それを委員の皆様にお示しできるように、議長と協議したいと思います。議員報酬、委員会視察、政務活動費と議論は多岐にわたります。委員の皆様におかれましては、今後とも熟慮ある委員会に御協力いただきますようお願い申し上げます。本日の会議を閉じたいと思います。

その他で何かありましたら委員の皆様お願いします。

[発言する者なし]

## ○中村副委員長

これをもちまして第9回の西予市の財政に関する特別委員会を散会いたします。

散会 午後3時15分

西予市議会委員会条例第30条第1項の規定によりここに署名する。

西予市の財政に関する特別委員会委員長

源 正樹